



WebFOCUS Hotfix 8.2.06.38-HF006 の適用 Text4Shell 脆弱性（CVE-2022-42889）対応

本手順書では、すでに導入済みの WebFOCUS Version8.2.06.38 に対して Hotfix 8.2.06.38 HF-006 を適用するために必要な手順と注意点を記載しています。トピックを参照のうえ、必要な作業を行ってください。

トピック

- | | |
|---|---|
| ■ 8.2.06.38 HF-006 の入手方法について | ■ 8.2.06.38 HF-006 の内容と事前準備について |
| ■ Windows 環境での 8.2.06.38 HF-006 の適用手順について | ■ Linux 環境での 8.2.06.38 HF-006 の適用手順について |

8.2.06.38 HF-006 の入手方法について

WebFOCUS 8.2.06.38 HF-006 のモジュールは、以下の WebFOCUS Knowledge base サイトからダウンロードしていただくことができます。

WebFOCUS Knowledge base サイト URL
https://wfp.ashisuto.co.jp/service/

モジュールをダウンロードするためには、WebFOCUS Knowledge base へのアカウント登録が必要です。アカウントをお持ちでない場合は、上記 URL 上に表示される「WebFOCUS Knowledge base とは？」のリンクからアカウントの申し込みを行ってください。

8.2.06.38 HF-006 の内容と事前準備について

8.2.06.38 HF-006 の適用により、以下の Text4Shell の脆弱性に対応します。

- CVE-2022-42889

8.2.06.38 HF-006 は、以下の「その他モジュール」として提供されています。

- Text4Shell 脆弱性（CVE-2022-42889）対応 Hotfix 8.2.06.38 HF-006

WebFOCUS Knowledge Base サイトからダウンロードした各モジュールファイルを解凍してご使用ください。

Windows 環境での 8.2.06.38 HF-006 の適用手順について

【事前確認】

Hotfix を適用する前に WebFOCUS をインストールしたディレクトリを確認してください。

例 : C:¥ibi

以下の手順で WebFOCUS 8.2.06.38 Hotfix006 の適用を行ってください。

1. WebFOCUS Knowledge base サイトからダウンロードしたモジュール (wf8206.38-HF006.zip) を解凍し、**HF006** フォルダを C:¥ibi にコピーします。
2. Windows のサービス画面で、WebFOCUS ReportCaster WF90、Apache Tomcat * for WebFOCUS を停止します。
3. コピーした **HF006** フォルダ配下の HF006.bat をダブルクリックし、HF006 適用バッチを実行します。
4. 実行すると、WebFOCUS Client インストールディレクトリの選択が求められます。以下のように指定します。

*****ibi ディレクトリを選択してください*****

[1] : c:¥ibi

[2] : d:¥ibi

[3] : e:¥ibi

[4] : それ以外

ibi ディレクトリのパスを上記の番号より選択してください

例 : 1 (インストールディレクトリが C:¥ibi の場合)

※4 の場合は 4 を入力し、Enter キーを押した後ディレクトリを直接指定してください。

例 : f:¥ibi (インストールディレクトリが F:¥ibi の場合)

5. Windows のサービス画面で、WebFOCUS ReportCaster WF90、Apache Tomcat * for WebFOCUS を起動します。

注意:バックアップフォルダは、C:¥ibi¥ HF006 フォルダ内にある Client ディレクトリに作成されます。

※バックアップファイルを格納するディレクトリ名

C:¥ibi¥HF006¥Client¥bakup

以上で Windows 環境での 8.2.06.38 Hotfix006 の適用は終了です。

Linux 環境での 8.2.06.38 HF-006 の適用手順について

【事前確認】

Hotfixを適用する前にWebFOCUSをインストールしたディレクトリを確認してください。

例 : /<directory>/ibi

以下の手順で WebFOCUS 8.2.06.38 Hotfix007 の適用を行ってください。

1. WebFOCUS Knowledge base サイトからダウンロードしたモジュール (wf8206.38-HF006.zip) を解凍し、[HF006](#) フォルダを WebFOCUS インストールディレクトリ直下にコピーします。

WebFOCUS インストールディレクトリ : /<directory>/ibi/

2. コピーした/<directory>/ibi/HF006/ディレクトリに移動します。

例 : `$ cd /<directory>/ibi/HF006`

3. コピーした/<directory>/ibi/HF006/HF006.sh の権限を変更します。

例 : `$ chmod 755 /<directory>/ibi/HF006/HF006.sh`

4. Reportcater Distribution Server、Tomcat のサーバプロセスを停止します。

例 : `$ /<directory>/ibi/WebFOCUS90/ReportCaster/bin/stopit`

`$ /<directory>/ibi/tomcat/bin/shutdown.sh`

5. [/<directory>/ibi/HF006/HF006.sh](#) を実行します。

6. 次のメッセージが表示されますので、WebFOCUS インストールディレクトリを入力し Enter キーを押します。

Enter WebFOCUS Install Directory (Example:/home/webfocus/ibi , /opt/webfocus/ibi) :

[/<directory>/ibi](#)

7. 次のメッセージが表示されますので、Enter キーを押します。Enter キーを押すと 6 の手順で指定したディレクトリ直下にバックアップファイルを取得します。

Press ENTER KEY to continue (backup current file) :

※バックアップファイルを格納するディレクトリ名

`/<directory>/ibi/HF006/Client/backup`

-
- 8.** 次のメッセージが表示されますので、Enter キーを押します。Enter キーを押すと Hotfix006 が適用されます。

Press ENTER KEY to continue (apply HF006) :

- 9.** 以下のメッセージが表示されます。

HF-006 : complete

- 10.** Reportcatser Distribution Server、Tomcat のサーバプロセスを起動します。

例 : \$ nohup /<directory>/ibi/WebFOCUS90/ReportCaster/bin/schbkr &
\$ /<directory>/ibi/tomcat/bin/startup.sh

以上で Linux 環境での 8.2.06.38 HF-006 の適用は終了です。